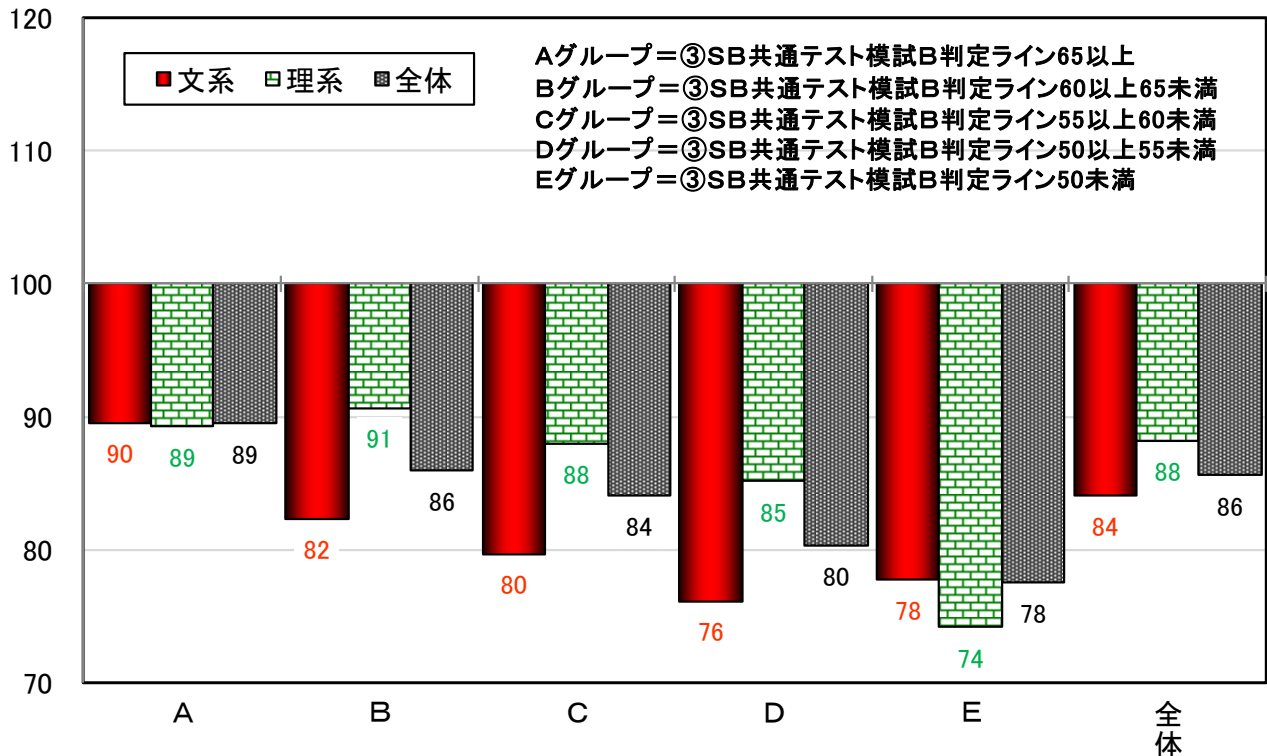


## 2021 年度入試状況分析【私立大】

本文中の( )内の数値は、志願者数の前年度対比指数を表します。

### 模試合格判定ライングループ別志願状況・合格状況

志願者数は全グループで減少、近年見られた極端な弱気な動向が変化



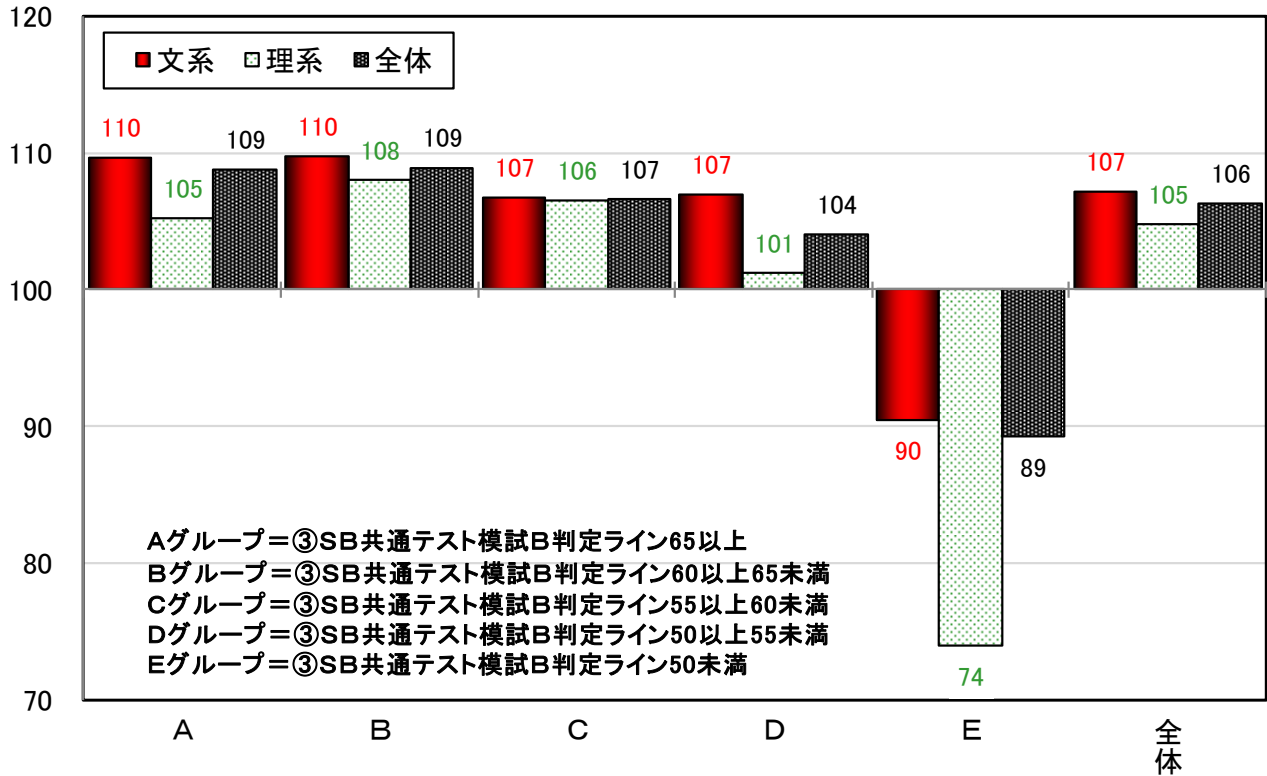
上のグラフは、私立大 525 大学の一般選抜の志願者数集計において、第 3 回駿台・ベネッセ共通テスト模試の合格判定ライン(B判定ライン)を基にして、学部単位(医学科は別集計)で5つのグループ(上位Aグループ~下位Eグループ)に分類し、各グループの志願者数合計の前年度対比指数を示したものです。

文理別では、文系(84)、理系(88)と文系は大幅減少、理系は減少で、いずれも減少率 10%以上の減少でしたが、文系の減少率がわずかに高くなりました。

文系では、Aグループ(90)からDグループ(76)に向かって減少率が大きくなりました。コロナ禍による経済状況の悪化により出願校数を絞る傾向がありましたが、いわゆる安全校の絞込が顕著でした。近年の弱気な出願によって継続していたAグループからEグループに向かって、志願者指数がアップしていくという傾向は全く見られませんでした。コロナ禍で経済状況が厳しくなる中で、受験校選定にあたって、合格可能性のみを重視したような安易な選択は減少したようです。一方で、理系でもA・Bグループの減少率よりもC・Dグループの減少率が大きく、Eグループが最も大きくなりました。文系同様に安全校の絞込の傾向が見られました。

## 2021 年度入試状況分析【私立大】

合格者数は全体では文理とも増加し競争は緩和、ただしEグループは減少



上のグラフは、私立大522大学の一般選抜の合格者数集計において、第3回駿台・ベネッセマーク模試の合格判定ライン(B判定ライン)を基にして、学部単位(医学科は別集計)で5つのグループ(上位Aグループ~下位Eグループ)に分類し、各グループの合格者数合計の前年度対比指数を示したものです。文理ともにA~Dグループで増加し、Eグループのみ減少しました。文理別では、文系(107)、理系(105)のいずれもやや増加していますが、文系の増加が大きくなりました。

文系はA・Bグループで約10%増加、C・Dグループで約7%増加しましたが、逆に志願者数は減少したため、競争が緩和したことがわかります。一方で、減少したEグループ(90)も志願者数の減少率の方が大きいいため、競争が緩和しました。

理系は、A~Dグループで増加しましたが、志願者数は減少したため、競争が緩和しました。Eグループ(74)は大幅減少ですが、志願者数の減少率と同じ数値となっており、文理を通して唯一競争の緩和がなかったグループでした。文系、理系のほとんどのグループで競争が緩和したことが、2021年度入試の大きな特徴でした。